

## ◇現代社会と青年◇

### 若者の『金銭感覚』の育て方

むろだて いさお  
室館 勲  
(株式会社キャリアコンサルティング  
代表取締役社長)



「中古品の売買はGDPにカウントされない」

この話を聞いた時に様々なことが頭を駆け巡りました。世の中ではヤフーオークションやメルカリなど、ネット上での中古品取引が盛んです。趣味にはしっかりとお金を使い、それ以外はなるべく安く済ませたいというのがおおかたの日本人の感覚です。さらに、金額を「コスパ（コストパフォーマンス）」でのみ判断する若者も増えていきます。私は若者に対して、(最低限の貯蓄は前提として) お金の使い方について、次のように話しています。

(一) 交際費や人生経験にお金を惜しむな  
様々な人との交流や、豊富な人生経験のために使いましょ。考えの幅が広がりが私とも大いに役立ちます。そして、将来何倍にもなって返ってきます。

(二) 一点集中せよ

この一点を伸ばしたいと思ったら、山籠もりをするかのごとく、可能な限り時間とお金と体力をその一点に投下します。私もダメ営業マン時代は他のことを犠牲にして、営業トークの練習に没頭しましたので、趣味に使ったお金はほぼゼロ。お金は本の購入やセミナーの参加費、トップ営業マンとの交流に使いました。

(三) 募金をせよ

少額でもいいので、復興支援などの募金をしたり、ボランティア活動に寄与したりしましょう。心がスツキリと綺麗になり、自分に自信が持てます。

(四) 応援者になれ

若者は無料が大好きです。ネット上の音楽や映画など、お金を使わずに娯楽を楽しめます。私はそこに疑問を持たせません。映画をなるべく正規料金で鑑賞するように伝えます。鑑賞料は作ってくれた人たちに対する敬意でもあるのです。あらゆる商品やサービスには提供側の開発費や人件費、サービス料などがかかります。自分のできる範囲で、応援したいものにお金を使いましょう。

コスパばかりを気にした生き方の反対が「粹」な生き方です。粹な若者を増やし、作る側がもっと元気になるよう「稼いで使う」若者の育成に励んでいます。